

【児童への話】

今日は、1年間の学習や生活のまとめの日です。皆さん、毎日よく頑張って学校に来ましたね。皆さんは、この3月いっぱいまで、感染状況がこれ以上悪くならないように、原則マスクを着けたり、黙食をしたりするなど、優しさを分け合い、できることを最大限頑張ろうとする、すばらしい姿を見せてくれました。今から、自分の1年をふり返ってみましょう。みなさん、目を閉じて、校長先生の問いかけを心で聞いて、考えてください。手は挙げないでいいです。始めますので、静かに目を閉じましょう。

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、学習や活動がんばって、自分が「考える子」になれたと感じたことがありますか？

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、人のためになることをして、自分が「思いやる子」になれたと感じたことがありますか？

この1年を、心の中で思い出し、一日ひとつ、苦手なことにも諦めずにチャレンジして、自分が「やりぬく子」になれたと感じたことがありますか？

目を開けてください。さあ、いかがでしたか？まず、自分はできていたと思えたことを大切にしてください。それは、皆さんの努力の成果です。次に、自分はできていなかったと思ったことを確かめてください。それは、4月からの課題です。

今日、皆さんがもらう通知表を、校長先生は全員分読みました。皆さんがよく頑張ったことが書かれています。担任の先生からの今年度最後のお話だと思って、しっかりと読んで確かめてください。

それでは、今日のお話の最後に、先生から番町小の皆さんに、言葉を贈ります。今年度は学芸会でしたので、歴史上一番偉大な劇作家と言われている、ウィリアム・シェイクスピアの残した、とてもカッコいい、次の言葉です。

「時というものは、それぞれの人間によって、それぞれの速さで走るものなのだよ。」

番町小の皆さんは、それぞれ、ステキな力をもっています。その力がグリーンと伸びて表面に出てくるのは、明日かもしれません。1年後かもしれません。5年後、10年後かもしれません。時間は平等です。いずれ来るそのときを待ち、毎日ひとつずつの努力を重ねられる、校長先生の大好きな番町の子でいてくれることを、心から願っています。

1年間、よく頑張りました。4月からも、ステキな皆さんでいてください。

【本講話について】

1年間の教育活動を本日で修了し、明日はいよいよ卒業式です。

昨日の卒業式予行には、73名の卒業生と67名の5年生が在校生代表として参加しました。卒業生の所作は、日に日に上達しています。本番でもきっと、最高にステキな姿を見せてくれることでしょう。そして、予行でその姿を間近に見た5年生が、1年後に皆から祝福され、胸を張って卒業することができるように日々頑張っていく姿を楽しみにしています。

本年度の講話はこれで終わります。1年間ありがとうございました。